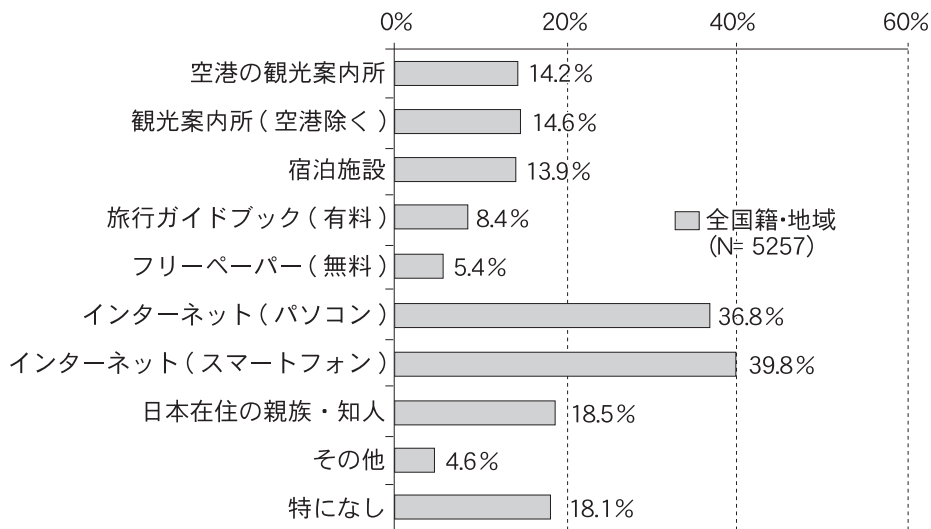
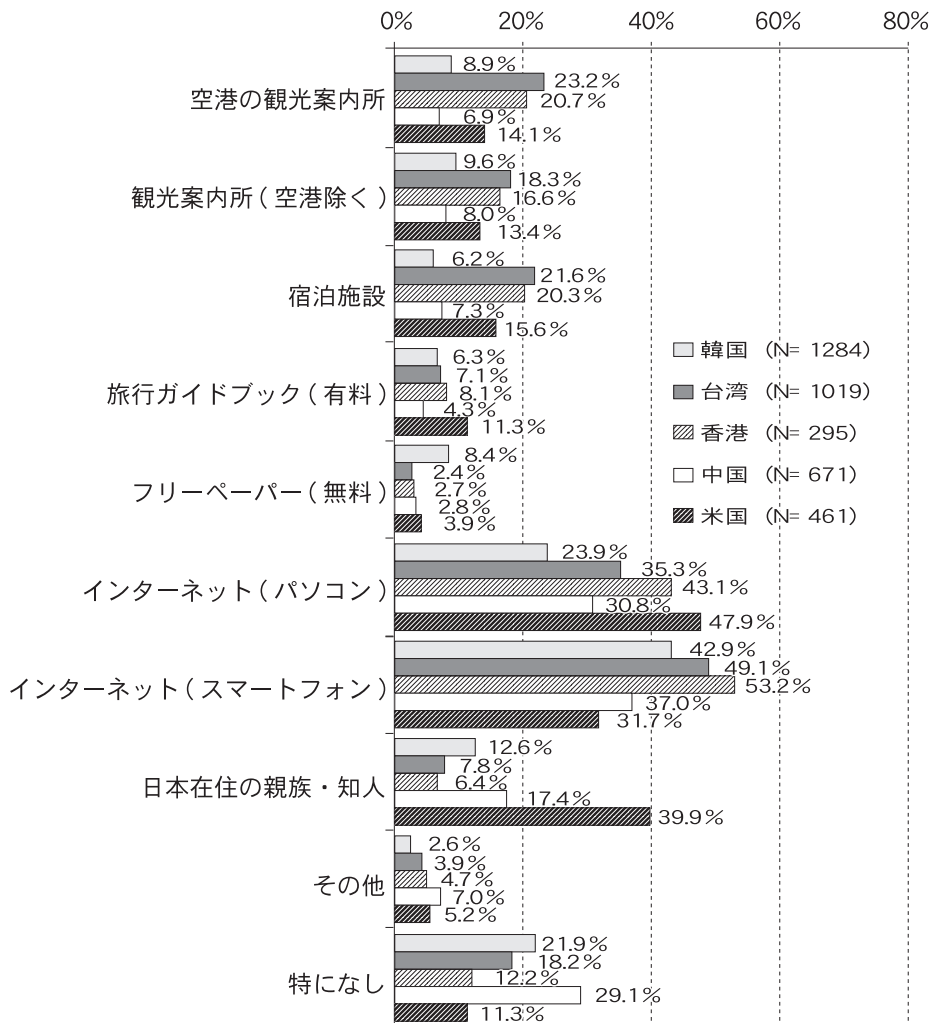


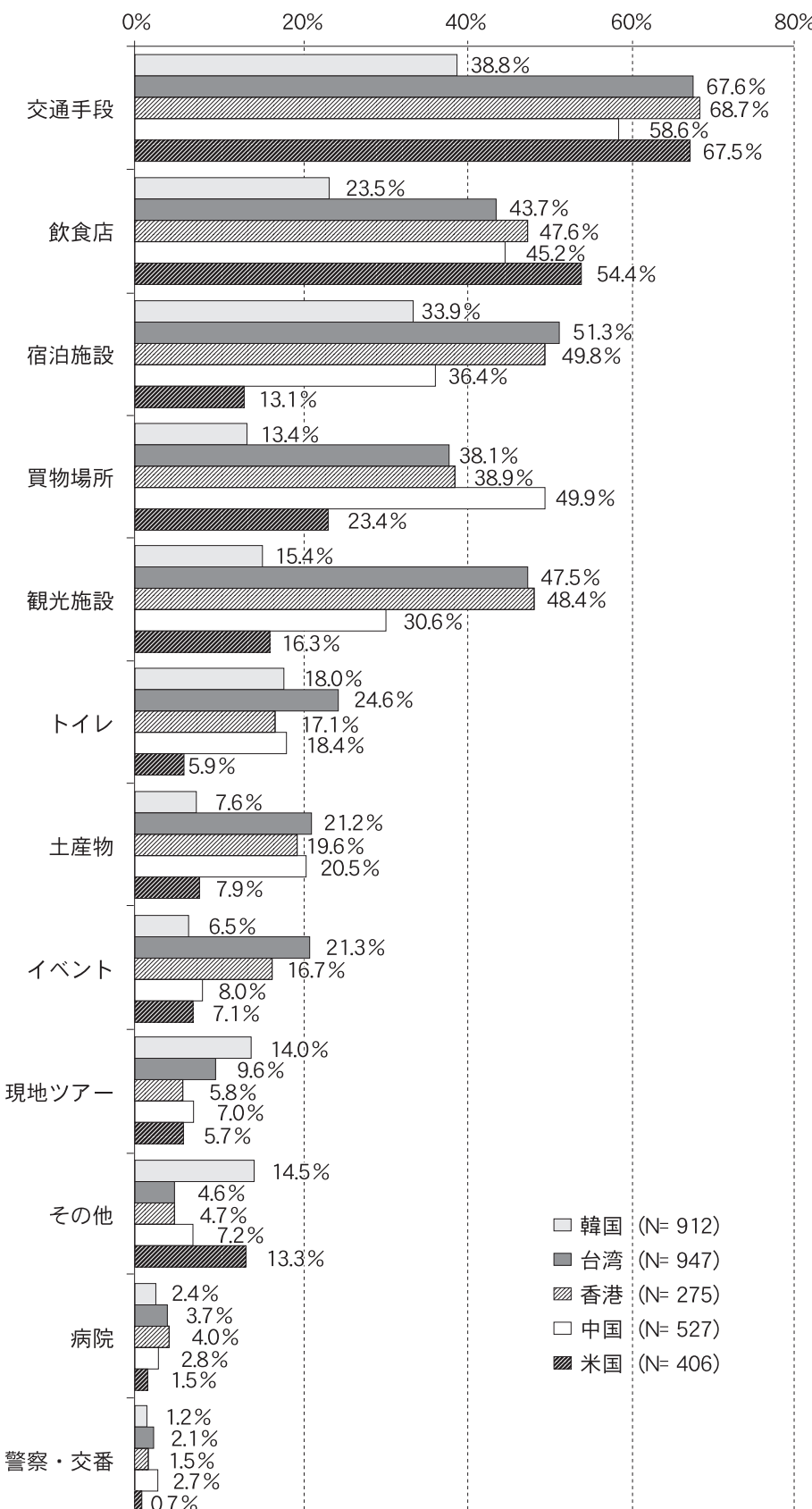
図表1 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったもの（全国籍・地域、複数回答）



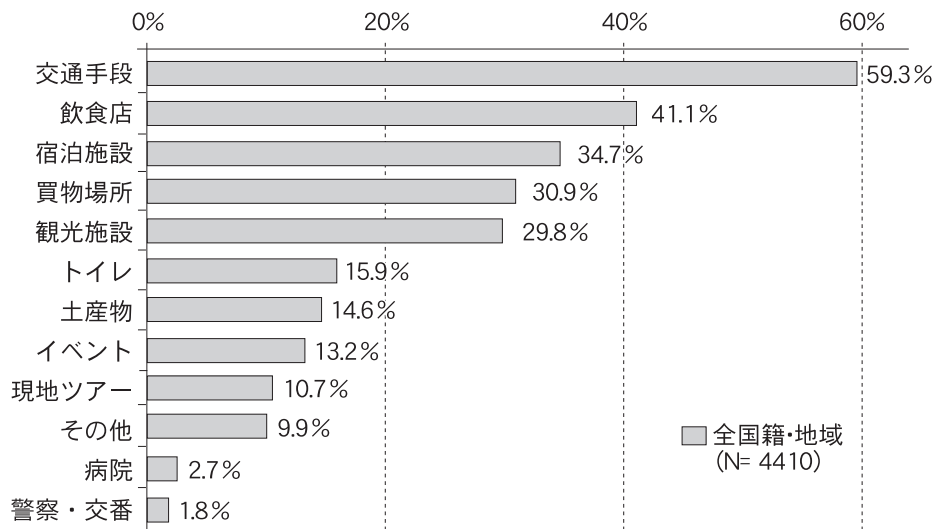
図表2 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったもの（主要国籍・地域別、複数回答）



図表4 日本滞在中にあると便利な情報（主要国籍・地域別、複数回答）



図表3 日本滞在中にあると便利な情報（全国籍・地域、複数回答）



観光庁はこのほど、2013年10～12月期「訪日外国人消費動向調査」の結果を発表した。訪日外客数が263万人と28・8％増加し、日本国内での旅行消費額は前年同期43・4％増の3082億円となった。訪日旅行全体の満足度については9割が「大変満足」「満足」と答えている。分析結果の一部をグラフで紹介する。

日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったものは「インターネット（スマートフォン）」が39・8％の選択率で最も高く、次いで「インターネット（パソコン）」（36・8％）が高い。また「日本在住の親族・知人」（18・5％）の選択率も高い（図表1）。

国籍・地域別にみると、「インターネット（スマートフォン）」は香港で選択率が53・2％と高い。「インターネット（パソコン）」は米国での選択率が高く、「日本在住の親族・知人」は韓国で高い。この他「飲食店」「観光施設」も米国での選択率の高さが目立つ（図表2）。

日本に9割が満足

日本滞在中にあると便利な情報では「交通手段」が59・3％と最も高く、次いで「飲食店」（41・1％）、「宿泊施設」（34・7％）、「買物場所」（30・9％）、「観光施設」（29・8％）、「トイレ」（15・9％）、「土産物」（14・6％）、「イベント」（13・2％）、「現地ツアー」（10・7％）、「その他」（9・9％）、「病院」（2・7％）、「警察・交番」（1・8％）の順で多い。

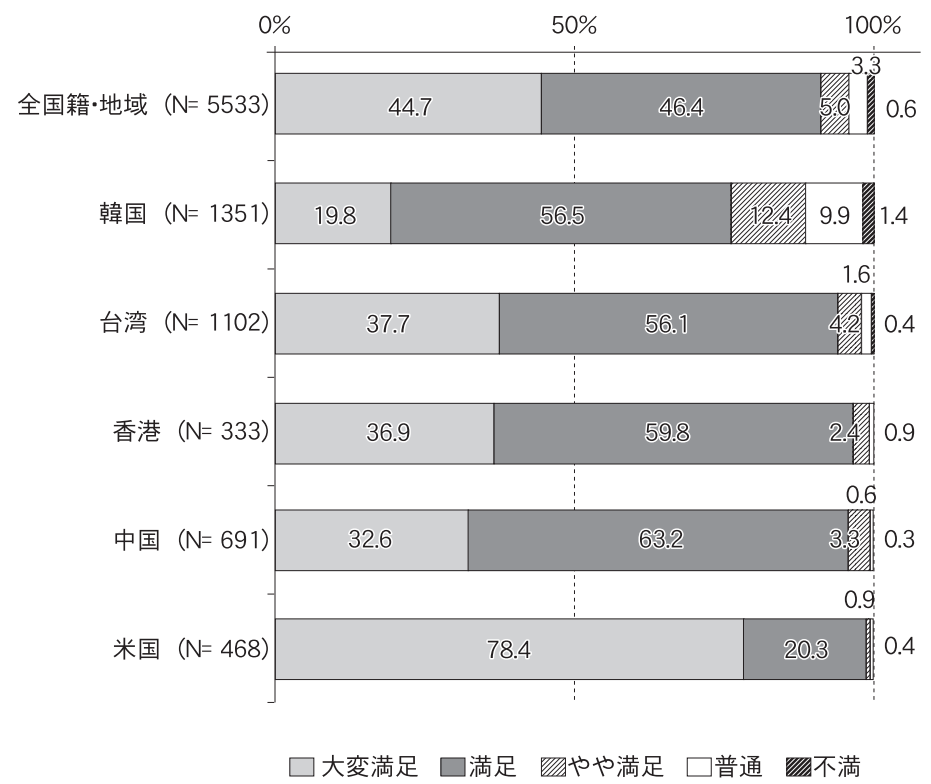
国籍・地域別では、米国の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」44・7％、「満足」46・4％で、韓国（44・7％）、「台湾」（43・1％）、「中国」（43・1％）、「香港」（43・1％）の順で多い（図表3）。

「温泉入浴」「日本食を食べる」「ショッピング」「自然・景勝地観光」の4活動は、今回実施した活動に比べて次回実施したい活動の割合が71・2％と高い（図表6）。

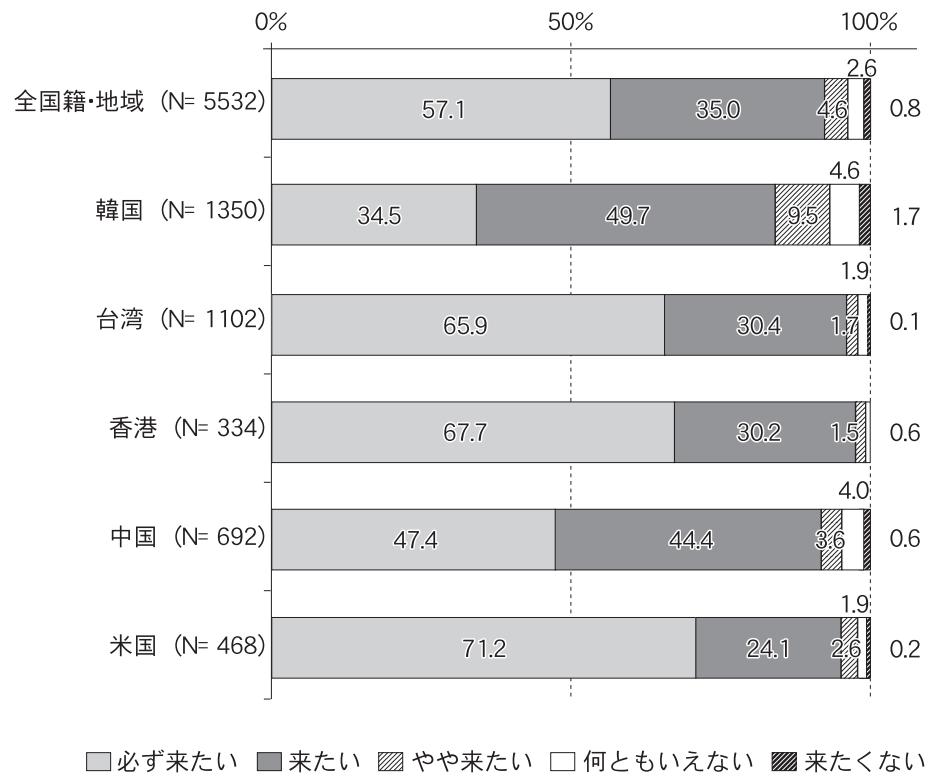
今回実施した活動は「日本食を食べること」（97・0％）が最も高く、次いで「ショッピング」（78・0％）、「繁華街の街歩き」（69・3％）、「自然・景勝地観光」（57・6％）、「旅館に宿泊」（51・9％）、「温泉入浴」（47・0％）、「ビジネス」（27・2％）、「日本の歴史・伝統文化体験」（22・6％）、「美術館・博物館」（21・8％）、「日本の生活文化体験」（20・8％）、「四季の体感（花見・紅葉・雪など）」（20・2％）、「ナイトライフ」（17・3％）、「親族・知人訪問」（15・2％）、「テーマパーク」（13・6％）、「自然体験ツアー・農漁村体験」（8・0％）、「イベント」（6・6％）、「舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽など）」（5・4％）、「映画・アニメ縁の地を訪問」（3・4％）、「スポーツ観戦（相撲・サッカーなど）」（2・1％）、「ゴルフ」（1・3％）、「治療・健診」（1・3％）、「スキー・スノーボード」（0・8％）の順で多い（図表7）。

観光庁 訪日外国人消費動向調査 2013年10～12月期

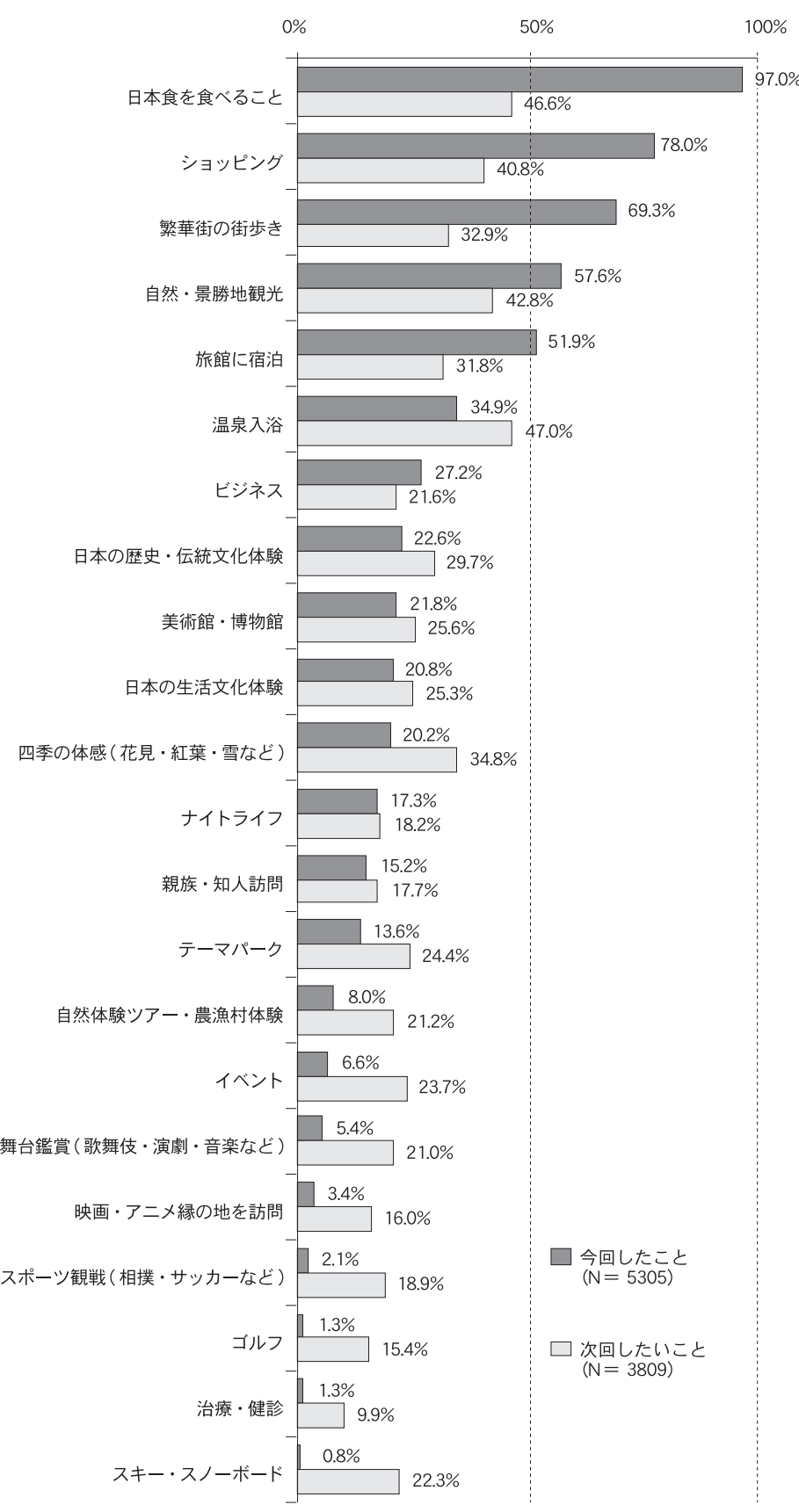
図表5 訪日旅行の満足度（主要国籍・地域別）



図表6 訪日旅行者の再訪意向（主要国籍・地域別）



図表7 今回実施した活動と次回実施したい活動（全国籍・地域、複数回答）



図表8 期待以上だった活動（主要国籍・地域別、実施率上位10活動）

